

わ
っ
WAKKA

鳥
取
市
の
ま
ち
な
か
を
応
援
す
る
情
報
誌

2025
AUTUMN &
WINTER

vol.
57



特集 自分らしくいられる社会をつむぐ

FREE
ご自由にお取り
ください

自分らしくいられる社会をつむぐ



人の暮らしも変われば、社会の課題も変わる。まちなかでは今、高齢者の独居が増え、なかには社会的孤立に陥る人もいる。そんな現状を改善しよう、「社会的処方」という取り組みを始めた会社がある。「風邪なら風邪薬を処方されるように、社会的孤立には人や地域とのつながりを処方する。それでみんなが元気に暮らせる社会になったら嬉しい」と株式会社つむぎの原田伸吾代表。昨年から『つむぎマルシェ×地域食堂』を始め、人が生き生きと暮らすための種まきをしている。

人のつながりが減っている

「すべての人がやりたいことができる、そんな公正な社会を作るのが僕ら作業療法士の仕事。自分がやりたくても、それができる環境がなければできません。だから、地域づくりは大切なこと。おかげさと思われるかもしれないが、僕の最終的な目標は、作業療法を通じて世界平和を実現することなんです。

真っ直ぐな目で語る原田さん。その熱量と行動力が、今、まちなかに風を起こし始めている。経営する株式会社つむぎは、介護と福祉の専門分野の領域を超え、地域づくりにも力を入れ

人が公正に生きられる社会

「マルシェが目指すのは、人の出身と居場所づくり」。それぞれの「好き」を表現し、挑戦してみたいことをやってみる場にしてもらいたいと、出店者も随時募集している。

「自分らしくいらるって何だろうと考えたら、自分が大事にしていることができることだと思ったんです。そのためには、それを応援する社会が必要だと考え、まちづくりに取り組み始めました。介護や福祉といった私たちの専門領域だけでなく、異業種の人たち、地域のさまざまな人たちとつながってやっていかないとけません」

すべての人がやりたいことができる社会を作る。その理念がつむぎを突き動かしている。「社会的孤独だけでなく、子どもたちの体験格差もなくしたい」と原田さん。社会の大人を招いて子どもたちが話を聞けるリビングライブラリーを実施している。

『つむぎ』という社名は、人と人、地域のつながりを繋ぎ直していき、みんなが自分らしい人生を送ることができるように、想いを込めた。これからもそんな豊かな生き方を紡いでゆく。

通常の仕事の中では難しかったんです」と話すのは、作業療法士として働く下石勝哉さん。解決策として注目したのがイギリス発祥の『社会的処方』。社会の中につながりを生む仕組みをつくる取り組みだ。

マルシェ×地域食堂

青空が広がった9月末の日曜日。昨年から新設した川端三丁目の事務所敷地で始めた『つむぎマルシェ×地域食堂』に次々と人が集まってきた。2カ月に一度開催。スタッフやその家族、地域の人が得意なことややりたいことで出店し、飲食ブースや物販が楽しめるイベントになっている。

スタッフの田中圭介さんは、この日母が製作したクラフトバッグを販売し、



「もともと地域に貢献したい気持ちがあったので、マルシェをすると聞いてワクワクしました。少しずつ壁がない社会づくりが進んでいけばいいなと思います」と話した。日ノ丸温泉は、数回にわたって足湯を提供。鳥取大学生でスタッフの國清晃生さんと谷川智彦さんは手作りジンジャーエールを販売。「こういう場があると、大学ではない出会いがあったり、地域のことを知れたりする。どんな人が増え、にぎやかになってきたと思います」と笑顔を見せた。つむぎでは、課題を抱える家庭にお弁当を持っていく『アウトリーチ型地域食堂』とよぶ訪問型の伴走支援を行っている。マルシェでも地域食堂を開くことで「多世代の人たちが、誰でも気軽にきてもらえる場にしようと思っているんです」と原田さんは言う。



誰でも参加OK!

入場無料

つむぎマルシェ×地域食堂

開催日時: 11/30(日) 11:00~14:00

場所: つむぎ川端事務所
(鳥取市川端3丁目117)

駐車場: むつみ保育園
あすなろ駐車場

つむぎマルシェの情報はこちらから))



お問い合わせ



株式会社つむぎ

TEL: 0857-30-6981



ている。2012年に創業し、高齢者の通所介護サービスから始め、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、支援が必要な子どもたちのリハビリをする療育事業を主に活動。その中で感じてきたのが地域の変化だった。「人のつながりが減っていると感じています。高齢で一人暮らしの方が、だんだんと身体の自由が効かなくなり、生活が成り立たなくなっている。人とのつながりがなくなり、外に出る機会も減り、趣味もやめたという話も聞きます。そういう問題を解決したくても、



Galleryそら presents

わたしの好きなまちの

作家さんの目線で鳥取のまちで見つけた『好き』を、作品でご案内

真教寺公園



イラストレーター
りりぽっちさんの
好きな〇〇は……

私は動物が大好きです。両親も動物好きだったので、実家では鶏や亀、犬、インコ、昆虫にいたるまで、さまざまな生きものと暮らしていました。

幼い頃の夢は、広い庭にいろんな動物を放し飼いすること。言葉を交わすわけでもなく、表情があるわけでもないけれど、一瞬一瞬を懸命に生きる姿がとても愛おしくて、心の奥底をぎゅっと掴まれるような、そんな幸せを感じるのでした。

今は動物を飼える環境ではないので、時間があれば動物との出会いを求めて出かけます。

そのひとつが、真教寺公園。まちなかにこんな場所があるなんて！と、県外の友人たちは感動して帰っていく、私の自慢のスポットです。

どの動物も可愛くて仕方ないのですが、私の推しはキバタン、大型のオウムのエーちゃんです。名前を呼ぶと近づいてきて、感情を全身で表現してくれます。しばらくすると、木の中に集めた宝物(ゴミではない)を見せてくれることも。本当に可愛くてたまらなくて、ヨシヨシしくなります。

至福の時間を過ごしていると、遊ぶ子どもたちの声がBGMのように響き、たくさんの方が訪れ、飼育員さんが一生懸命お世話をされている様子に気づきます。

最初は動物との出会いを求めて通っていたのですが、今では、多くの人の愛が溢れるこの場所そのものが、愛おしく感じられるようになりました。

最後に、皆さんにおすすめがあります。エーちゃんに話しかけると、最初から「こんにちわ」と言っても返事は返ってこないかもしれません。

でも、どうぞいる話しかけてみてください。心が通ったそのあとに、「もっとお話ししたいな」と引き止める手段として、エーちゃんは「こんにちわ」と言っているような気がするのです。

文・イラストりりぽっち



因幡の白うさぎをモチーフにしたイラストでお馴染みのりりぽっちさん。フリーランスでデザインやイラストのお仕事をされて10年目。彼女の温かい目線で描くキャラクターを熱く応援する推し活のファンが多数。デジタル・水彩画・アクリル画など挑戦し続ける中、2022年から鳥取県版寄付金付年賀はがきに採用されています。チャームングでわくわくするキャラクターたちが今後も広く愛されることを願います。

Galleryそら オーナー 安井敏恵

りりぽっちさんの一筆箋やキーホルダーなど今年から展示販売しています。鳥取のお土産にもおすすめ！

Galleryそら / gallery shop SORA
鳥取市栄町658-3
TEL:0857-29-1622

ギャラリーそら



まちなかの取り組みをこ"紹介します / とっとりまちづくり

前回大好評につき、
今回も山崎 亮氏による
基調講演を開催します！

鳥取駅周辺リ・デザイン市民フォーラムvol.2を開催します！

ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ

- 鳥取駅周辺再整備と中心市街地における新たな賑わい創出の可能性についての講演
- 市民とともに描く駅周辺の未来のカタチについてのディスカッション など

日時:2025/12/21(日)14:00~16:30

場所:とりぎん文化会館第1会議室

※要約筆記・託児の申し込みは
12/11(木)まで

参加費:無料 定員:200人(要予約・先着順)

予約期間:10/1(水)~12/18(木)

参加申込はこちらから→



お問合せ先:鳥取市まちなか未来創造課 または 鳥取市中心市街地活性化協議会まで



まちなかの空き家の利活用を検討ください！

まちなかの空き家を利活用される方への支援を行っています。

- 鳥取市まちなか空き家改修支援事業
まちなかの空き家を改修する費用等を支援します。※要件があります。まずはご相談ください。
- 鳥取市まちなか空き家等残置物処分支援事業
空き家情報バンクに賃貸で登録された物件を対象に、残置物の処分費用の一部を支援します。

詳しくは鳥取市公式WEBサイトへ→



◎お問い合わせ先:鳥取市 都市整備部 まちなか未来創造課 鳥取市幸町71鳥取市役所本庁舎5F 53番窓口
TEL:0857-30-8331 FAX:0857-20-3953 E-mail:machinakamirai@city.tottori.lg.jp

\ Pickup Event! / まちなかでアートや歴史にふれられるイベントをご紹介します。

フクシ×アートWEEKs 2025

わたしたちの「まち」で、フクシとアートに出会う31日間

WEBサイト>>



「フクシ×アートWEEKs 2025」は、障がいと共に生きる人々のアートが鳥取市中心市街地の商店街を彩っていく取り組みです。今年も、異なる切り口の4つの作品展とフォーラムやスタンプラリーなどの楽しいプログラムが展開されます。

開催日時:2025/10/25(土)~11/24(月・休)

会場:鳥取市中心市街地商店街

お問い合わせ先:フクシ×アートWEEKs実行委員会 TEL:0857-35-0191(アートスペースからふる)



「渋い」鳥取まちなか再発見



「渋い」鳥取まちなか再発見

まちなかの歴史や文化の案内をする活動を行っている「鳥取まちなかガイドの会」の企画によるイベントです。竹内ロウさんによる水彩画展とまちなか探訪、「渋ビル」や「昭和」がテーマの講演会が開催されます。鳥取のまちの「渋い」をたっぷりとお楽しみ下さい。

開催日時:2025/11/22(土)~29(土)

会場:パレットとっとり2F市民交流ホール

お問い合わせ先:鳥取まちなかガイドの会 E-mail:tottori.machinaka.gaido@gmail.com



11月はまちが楽しい!!
わっか隊のまちなか散歩のススメ



TOTTORI SAND ART

トットリ・サンドアート 2025

イベント

詳細・ご予約はこちらから! WEBサイト》



音楽人形演劇

木偶舎(大阪)

風土祈「砂」一剥き出しのイノチー

観覧無料 要予約

11/3 少雨決行
(月・祝)

午前 11:00～ 午後 15:00～

会場:太平公園(通称:三角公園/鳥取市瓦町551)

伝統芸能である「人形浄瑠璃」と、チェロ、篠笛のセッションによる現代演劇舞台が、鳥取のまちなかを舞台に開催されます。「砂」をテーマとして、オリジナルで書き下ろされた脚本・演出の特別公演。世界で活躍するアーティストたちのライブステージをぜひご鑑賞ください。



人形浄瑠璃
勘繰(かんくろく)
木偶舎(もくくうしゃ)



チェロ
Stann Duguet
(スタン・デュグ)



篠笛
阿部 一成
(あべかずなり)

サンドパフォーマンス

うごさだす、砂の絵!
～サンドパフォーマンス×ギタリストUNA～

●サンドパフォーマンス体験(大人向け)

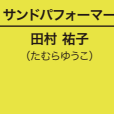
11/7(金) 19:00～

会場:五臓園ビル2階ギャラリー
(鳥取市二階町2-207)

砂で描いた絵が、音楽と一緒に動き出す!まるで魔法のようなライブパフォーマンスのステージ。懐かしさとやさしさを感じさせる田村祐子さんの描く砂絵と鳥取在住のギタリストUNAさんの共演です。音と光に包まれた、「動く絵本」の世界へようこそ。



サンドパーformer
田村 祐子
(たむらゆうこ)



ギター
UNA
(うな)

ワークショップ

アーティストのナビゲートで、いつもと違う体験を。小さなお子さまから大人まで楽しめる、バリエーション豊かなラインナップが揃いました。この日、この場所だけの特別なワークショップをぜひ、まちなかで。



絵付け体験ワークショップ

砂のフィギュアに色を塗ろう!

11/1(土) 10:00～16:30

材料費200円 予約不要

会場:五臓園ビル2階ギャラリー
(鳥取市二階町2-207)

講師/森 春菜



同じことばから始まる、ちがう世界

砂の箱庭ワークショップ

11/2(日) 午前 10:00～
午後 13:00～

参加無料 要予約

会場:Kari巢mai(かりずまい)
(鳥取市元魚町1丁目209-2)

講師/久保つくし



今はもう見れない、あの日の鳥取

35mmリバーサルフィルム投映会

11/9(日) 10:00～16:00

参加無料 予約不要

会場:鳥取市川端2-201/Gather隣
※マウント仕上げの35mmリバーサルフィルムをお持ちの方はぜひお持ち寄りください。

講師/青木 幸太

アート作品常設展

まちなかの「空き家」を会場に、「砂」をモチーフとしたインスタレーションを展示します。

11/1(土)～9(日) 10:00～17:00

岡野 元房 (おかのもとふさ)

会場:鳥取市職人町26 田村ビル2階

「鳥取砂丘 "ラオラオ・プアプア" 大行進」歩いて歩いて砂の上
海や山の見える日常の生活を表現したテラコッタと墨絵。そして因州和紙の灯り。

青木 幸太 (あおきこうた)

会場:鳥取市川端2-201/Gather隣

Wavelength

波長をテーマに不変的であるこの地の情景、それぞれの記憶、流れる時間を伝えるインスタレーション

大久保 つくし (おおくぼつくし)

会場:Kari巢mai(鳥取市元魚町1丁目209-2)

星を掘り出す砂場

空き家に眠る記憶をひらくインスタレーション

モルタルマジック&nido

会場:鳥取市瓦町409/café-nee奥

For whom do the flowers bloom?

元スナックのカウンターを舞台に、はかない砂の花が「百花為誰開」を問うインスタレーション



『麒麟ノサト交差点』は、地域の食べ物・飲み物を片手に鳥取の街を楽しむマーケット×パル形式のイベント! 夜には飲食しながらリラックスして映画が楽しめる街かどナイトシアターも開催されるなど、食と文化が交差する2日間です! 食べ歩きやお買い物、いつもよりちょっと夜更かしして楽しむ映画など、家族で楽しめること間違いなし……! ぜひ遊びにきてください!

チケットの前売りはこちらから! WEBサイト》

